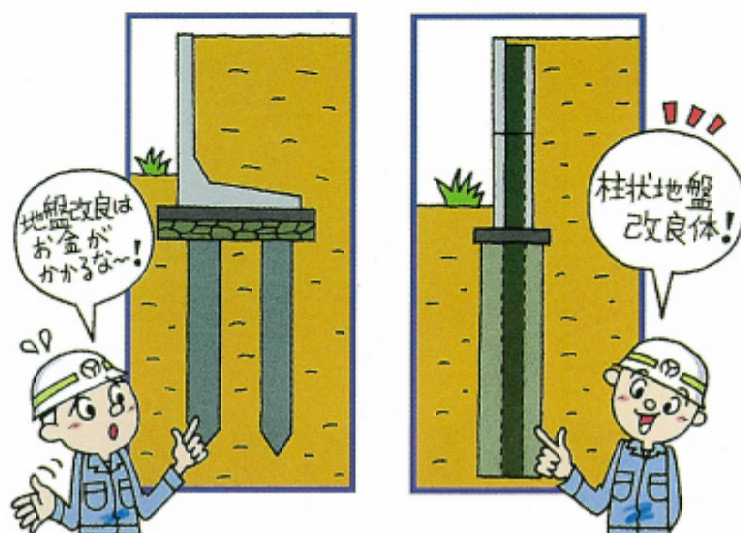


従来のL型擁壁工法には、大型重機が入る事のできない狭い現場や、既存の構造物が邪魔になる現場では施工ができない、などの問題がありました。そこで登場したのが、自立式擁壁（フーチングレス・パネル＝FP）工法です。

底版（フーチング）を持たないため施工時の自由度が高く、掘削幅の取れない現場にも有効。大型重機の使用や地盤改良の必要がないため、経済性にも優れています。設計者や技術者から画期的な新技術として多くの注目を集めている、これがFP工法なのです。

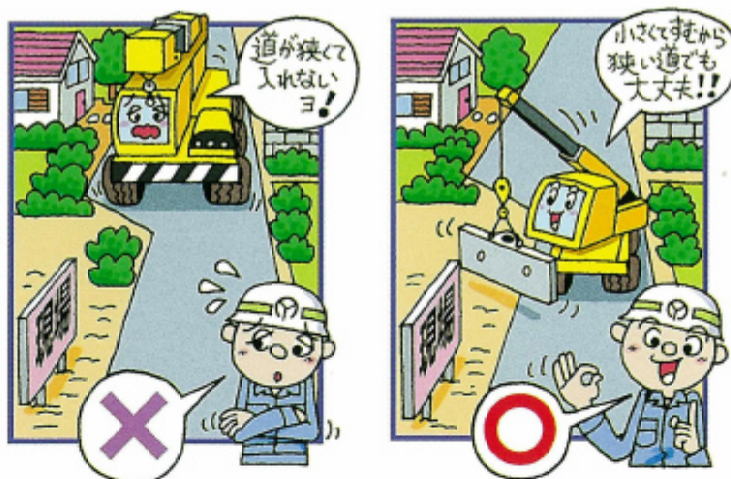
特徴 2 地盤のあまり良くない現場では経済的です。

L型擁壁では、地盤支持力が不足している場合、基礎杭打ち込み等の地盤改良をしなければいけません。本工法は、柱状地盤改良体に鋼管杭を立て込み擁壁化するため、N値3以上の地盤で施工できます。



特徴 3 狭い現場での施工が可能

パネル1個が約758kgなので、今まで大型重機が入れなくて施工できなかった現場に最適です。



施工実績 ②



水田のような地盤が軟弱な現場にも対応し、しかも経済的な工事が可能（千葉県千葉市若葉区富田町）